

飛躍



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

HIYAKU

第356号

サッカー部 インターハイ出場決定 柔道部 関東大会出場

TOP*NEWS

2017年度 東海大学付属推薦制度 特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦による 385名の推薦候補者決定、おめでとう



「特別奨励入学制度」で推薦候補者に選ばれた皆さん

2016年6月10日(金)に2017年度東海大学付属推薦制度を利用した特別奨励入学推薦候補者の発表があり、今年度は56名という多くの生徒が推薦候補者になりました。特別奨励制度は、高校1、2学年次の学業成績の平均が7.5点以上かつ高校3学年次の学園基礎学力総合試験の学園順位が350番以内の生徒が推薦されます。普段からしっかりと学習に取り組み、基準を突破した生徒が選出されます。

特別奨励入学候補者に対しては、9月下旬から実施されます東海大学の後期開講科目に「科目等履修生」として参加できる「体験留学」と呼ばれる制度があります。これにより、自分

が進学する予定の学部・学科の授業を体験して、単位を修得可能であり早期に自分の夢を実現する力を養うことができます。さらに、11月25日(金)の付属推薦合格発表が行われると、正式に特別奨励入学候補者に決定して大学入学後に25万円の学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんも、ぜひ特別奨励入学を目指して頑張ってください。

それでは、以下に第1回の特別奨励入学候補者となりました56名の皆さんを紹介します。

特別奨励入学候補者氏名(五十音順)

青木 一平	浅野 桃佳	荒井健太郎	安齋 梨花	生魚 雄大	井口 史哉	石川 朋
伊藤 信明	岩屋 喬士	植木 誠晴	浦田 直輝	大久保 邦香	大箭 望	加来 博智
掛川 慶大	勝谷 凜夢	倉野 雅隆	黒岩 秀圭	黒川 由登	黒木 花菜	小埜ひかる
小林 かこ	佐々木 駿	佐藤 望美	柴野 稜	島田 大雅	鈴木 彩花	関 駿平
関野 貴友	袖山 翼	高橋 彩嘉	竹下 友弥	武田 河威	武山 早登	塚本光一郎
富永悠記子	仲野 龍陽	中山 幾斗	西垣 祐汰	原 愛莉	平澤 英実	藤次 翔
古川 優花	松浦 悠大	松岡 理紗	松川 弘樹	松丸 和貴	三崎 和	村田 元
安田 明路	山本 弥香	山本陽太郎	若月 花梨	渡邊 一真	渡邊 史歩	渡邊 春美

2017年度 東海大学付属推薦制度 特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦による 385名の推薦候補者決定

2016年6月10日(金)に2017年度東海大学付属推薦制度による推薦候補者の発表がありました。表紙のページで紹介しましたように特別奨励候補者として決定した56名以外にも、特別技能推薦で4名、特別学力推薦で274名、付属推薦で51名の合計385名の生徒が推薦候補者として発表されました。

推薦候補者となった生徒は、この後7月2日(土)または3日(日)を中心に実施されます推薦候補者説明会に参加するとともに、大学からの2回の個別指導課題、インターネット環境を利用したe-learningなどをすべてやり遂げていくことで、大学への入学準備が万全となります。

この後、11月25日(金)の合格発表までしっかりと学習を継続してください。

なお、医学部・看護系学科・芸術系学科・航空宇宙学科航空操縦学専攻を希望する生徒につきましては、今後行われます適性審査を経て推薦候補者が決定しますので、今回は第二・第三希望の学科の推薦候補者として発表されています。適性審査の結果発表につきましては、9月の「飛躍」にて掲載予定です。

特別奨励入学推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
生物学部生物学科	1
情報通信学部情報メディア学科	2
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	1
情報通信学部経営システム工学科	2
文学部英語文化コミュニケーション学科	2
観光学部観光学科	5
政治経済学部経済学科	1
政治経済学部経営学科	1
教養学部人間環境学科自然環境課程	2
教養学部国際学科	1
体育学部競技スポーツ学科	1
体育学部生涯スポーツ学科	2

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	7
理学部情報数理学科	1
工学部生命化学科	6
工学部光・画像工学科	1
工学部電気電子工学科	1
工学部建築学科	3
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	3
工学部医用生体工学科	8
海洋学部水産学科食品科学専攻	1
海洋学部海洋生物学科	2
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	2

特別技能推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部競技スポーツ学科	2
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	2

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
国際文化学部地域創造学科	2
国際文化学部デザイン文化学科	2
生物学部生物学科	1
情報通信学部情報メディア学科	9
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	3
情報通信学部経営システム工学科	4
情報通信学部通信ネットワーク工学科	4
文学部ヨーロッパ文明学科	1
文学部アメリカ文明学科	2
文学部北欧学科	1
文学部歴史学科日本史専攻	1
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部日本文学科	1
文学部英語文化コミュニケーション学科	3
文学部広報メディア学科	13
文学部心理・社会学科	16

進学予定先	学科別人数(名)
観光学部観光学科	23
政治経済学部政治学科	7
政治経済学部経済学科	11
政治経済学部経営学科	17
法学部法律学科	2
教養学部人間環境学科自然環境課程	10
教養学部人間環境学科社会環境課程	15
教養学部国際学科	14
体育学部体育学科	5
体育学部競技スポーツ学科	2
体育学部生涯スポーツ学科	8
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	3
理学部数学科	2
理学部情報数理学科	2
理学部物理学科	3
理学部化学科	3

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
情報理工学部情報科学科	5
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1
工学部生命化学科	7
工学部応用化学科	1
工学部材料科学科	1
工学部建築学科	18
工学部土木工学科	4
工学部機械工学科	3
工学部動力機械工学科	7
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	7

付属推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
国際文化学部地域創造学科	1
国際文化学部デザイン文化学科	2
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	2
情報通信学部通信ネットワーク工学科	2
文学部文明学科	1
文学部アジア文明学科	1
文学部ヨーロッパ文明学科	3
文学部アメリカ文明学科	6
文学部北欧学科	2
文学部歴史学科日本史専攻	3
文学部日本文学科	2
文学部文芸創作学科	2

進学予定先	学科別人数(名)
健康科学部社会福祉学科	7
海洋学部環境社会学科	1
海洋学部水産学科生物生産学専攻	1
海洋学部水産学科食品科学専攻	1
海洋学部海洋生物学科	10
海洋学部航海工学科航海学専攻	1
経営学部経営学科	2
基盤工学部医療福祉工学科	1
短期大学部食物栄養学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	4

進学予定先	学科別人数(名)
政治経済学部政治学科	2
法学部法律学科	10
情報理工学部情報科学科	1
情報理工学部コンピュータ応用工学科	2
工学部応用化学科	1
工学部土木工学科	1
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	1
健康科学部社会福祉学科	1
経営学部経営学科	3
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	2

学園オリンピック1次試験・審査合格者発表

2016年度東海大学学園オリンピック文化部門1次試験・審査[芸術(音楽)部門を除く]に、学園の中等部・高等学校から延べ2,000名以上の応募がありました。本校の中等部・高等学校からは各部門に52名の応募がありました。

1次試験・審査の結果が発表され、18名の生徒諸君が見事に2次審査に進むことになりました。1次試験・審査の合格者は、7月31日(日)～8月5日(金)に群馬県にある孺恋高原研修センターで行われる夏季セミナーに参加し、部門ごとに東海大学の先生方の指導のもとで、創作活動やフィールドワーク等のアクティビティに励みます。その成果によって各部門の優秀賞受賞者が選出され、表彰されます。



国語部門		理科部門		英語部門	
木村 天音 (2年9組)	齋藤 藍香 (3年7組)	石川伸之介 (3年A組)	石川 聖都 (3年B組)	青木亮一郎 (2年10組)	浅倉 彩夏 (3年3組)
高瀬 夏乃 (2年10組)	吉川 瑞希 (3年10組)	佐藤 茂 (2年10組)	チャイルズ 英理紗 (3年3組)		
芸術(造形)部門		知的財産部門		ディベート部門	
平賀 雄也 (1年B組)	庄司 馨 (1年6組)	杉浦 光 (2年7組)	成田 理南 (3年8組)	米澤 風花 (2年7組)	藤丸かれん (3年10組)
	近藤 理貴 (2年10組)	石橋 大朗 (2年10組)			

合格おめでとう! 孺恋の夏季セミナーで頑張ってください!

サッカー部 インターハイ出場決定！

「無限の力」で勝ち取ったインターハイ

サッカー部監督 川島 純一

このたび、高輪台高校サッカー部は、2度目の全国大会に出場することになりました。日頃から多くの学校関係者や保護者の皆様方からご支援をいただき、感謝しています。また応援してくださった生徒の皆さん、ありがとうございました。

今大会は、選手の保護者やチームのOBをはじめ、選手たちの前チームの指導者、練習試合でお世話になっている高校の先生方、サッカー部ではない高輪台高校出身のOBなど、チームに関わってくれる人々から多くの応援メッセージをいただきました。また、勝ち上がるたびに祝福のお言葉も増え続けていきました。代表決定戦を終え、東京都代表になった直後には、電話、メールが鳴り止みませんでした。このチームは実に多くの人々の支えの上に成り立っているのだということを、改めて実感しました。

高輪台高校サッカー部は1970年に同好会として発足、1974年に創部し、40年以上の伝統を引き継ぎ現在に至っています。今日までに非常に多くの人々がこのサッカー部に関わり、礎を築いてくれました。我々は今、その積み重ねられた伝統の上に立っています。今回の結果は、多くの人々の「無限の力」で掴んだものといえます。

トーナメントを勝ち上がり、上に行けば行くほど、勝敗を分けるものは紙一重になります。今予選でも、準決勝はPK戦にまでもつれ込む激戦となりました。このレベルまで来ると技術・戦術・体力などは拮抗し、どのチームも大差ありません。では、明暗を分けるものは何か。それは「オフ・ザ・ピッチ」での取り組みだと私は思っています。

毎日の部活動に真剣に、全力で取り組む思い、サッカーだけに懸ける強い思い、この思いが強ければ強いほど、サッカー以外の生活が変わってきます。学校生活、家ででの生活、あらゆる場面での立ち振る舞いなど、何事に対しても前向きにとらえること。ここに勝利のヒントが隠されていると私は信じています。昨年度の冬の選手権予選で敗れた時、今の3年生は自分たちに不足している力を痛感しました。彼らに足りなかったものはサッカーの技術ではありません。オフ・ザ・ピッチ、サッカー以外のところでどれだけ一生懸命に取り組めるかが、結果を出すために必要な要素でした。新チームになり、彼らはその課題に真剣に向き合い、取り組んできました。その成果の表れが、今回のインターハイの結果ではないでしょうか。

全国大会という大きな舞台に立つ機会を得ました。この舞台で、今まで積み重ねてきたことがどれだけ発揮できるか、そして今大会を通じてどれだけ成長できるかを私は楽しみにしています。まだまだ登頂途中、学校活動全体でのさらなる部員の活躍や、人間力の向上を図りつつ、インターハイ本戦、そして最大の目標である冬の全国高校サッカー選手権での無限の力を期待しています。



サッカー部員165名(さいたま総合グラウンドにて)

感謝

サッカー部主将 3年7組 袖山 翼

私たち東海大高輪台高校サッカー部は、全国大会に出場することを目標の一つとして日々努力してきました。私は1年生のころからAチームに入ることができ、先輩方と共に全国を目指して練習に励んできました。しかし結果を出すことができず悔しい思いをしました。だから今年度は、先輩たちの叶えられなかった目標を自分たちの代で必ず達成しようと、決意を新たにしていました。

今回、インターハイで全国大会へ出場することができたのは、チームメイト、家族、学校の方々などいろいろな人たちが協力、応援をしてくれたおかげだと思います。特に家族には本当に感謝しています。私の体のことを考えて食事を作ってくれたり、夜遅くに洗濯をしてくれたり、試合の日にはわざわざグラウンドまで足を運んでくれたりしました。その姿はとても励みになりました。家族の協力なくしてこの結果は出せなかったと思います。

私たちは次の目標である日本一に向けて、さらなるレベルアップを図っていきます。本大会まで1カ月、自分たちのできる最高の準備をして大会に臨みたいですし、そして今まで支えてくださった方々への感謝と恩返しので、毎試合全力で戦い、結果を残していきたいです。

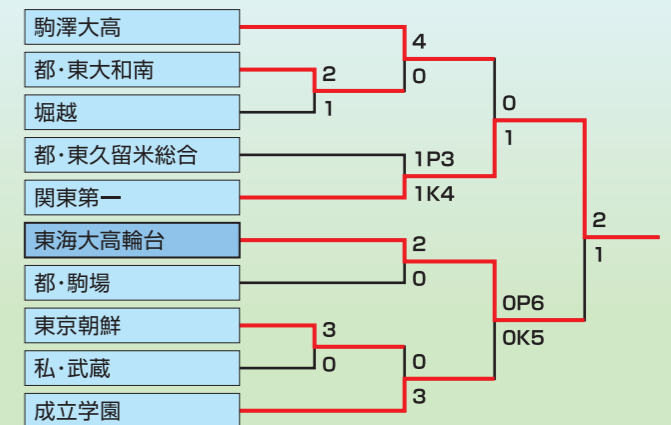


試合結果

予選参加校 307校

試合	対戦相手	スコア	得点者
●2回戦	VS 芝浦工大高校	7-0	武川②、本藤②、武井、白井、本多
●3回戦	VS 都立小山台高校	1-0	武川
●4回戦	VS 国士館高校	1-0	小林陸
●5回戦	VS 創価高校	0-0 PK4-2	
●6回戦	VS 実践学園高校	3-0	小林慶、武川、武井
●準々決勝	VS 都立駒場高校	2-0	武川、木次
●準決勝	VS 成立学園高校	0-0 PK6-5	
●決勝	VS 関東第一高校	1-2	武井

東京都代表校 関東第一高校・東海大高輪台高校



学年だより 中1

☆キャリア教育☆

5月26日、中等部を対象にキャリア教育が行われました。今回、1年生は株式会社カプコンの方にお越しいただき、「ゲームリテラシー教育」と題し、ゲーム会社での仕事やゲーム制作についてお話をうかがいました。

考えていた以上にたくさんの仕事が集まって、長い時間をかけて一つのゲームができることに驚きました。何かを作るこの大変さと楽しさを知ることができてよかったです。(1A 関 大輝)

僕は、小さいころからゲームに興味がありました。今回のキャリア教育で、ゲーム会社がどのような仕事をしているかを知ることができました。ゲームを作る大変さを理解することができました。(1B 大村 隼人)



☆校外学習 ~江戸東京博物館・東京都復興記念館~☆

5月27日は、校外学習で江戸東京博物館や東京都復興記念館を訪れました。江戸東京博物館ではクイズ形式のワークを埋めるため、グループで協力しながら回りました。友達と相談し合いながら、江戸や東京のことについて多くのことを学ぶことができました。復興記念館では関東大震災について学びました。写真などで当時の様子を知り、天災の恐ろしさを改めて感じたようです。

江戸東京博物館に行つて

A組 長谷 岳彦

幼稚園のころによく行った江戸東京博物館。大きく立派な日本橋に驚いたことを鮮明に覚えている。初めて見た日本橋は見上げるように大きく、時間が経つのも忘れて圧倒された記憶がある。そして今回中学生になって、久しぶりに江戸東京博物館を訪れた。日本の歴史を大まかに知ってから見る江戸東京博物館は、今までとは違う印象を受けた。幼いころはただ大きな展示物に感動しただけだったが、今は違う。その時代時代に生きた人々の織りなす知恵と工夫を感じた。一大名に過ぎなかった徳川家康が築いた、地方の城下町として始まった江戸。海を埋め立て、水路を作り、百万都市の礎を築いた家康の、先見の明にあふれる都市計画に驚かされた。もし自分が家康だったら、どんな江戸の町をデザインしただろう。想像は膨らんでゆく。この大都市に育った東京を、さらに発展させてゆけるよう、自分も大きく成長してゆきたいと思った。

江戸技術

B組 畠山 さりな

私は、テストの2日後の5月27日に江戸東京博物館と復興記念館に行きました。その中で私が驚いたり、印象的だったことが2つあります。
1つ目は、江戸東京博物館にあったたくさんの復元物です。例えば日本橋の再現や歌舞伎の人形などが細かく再現されていて驚きました。
2つ目は、復興記念館で関東大震災の威力を知ったことです。火事で硬い鋼鉄などでも溶けて粘土のようになってしまったことを知ったり、人が苦しんでいる絵を見たりして、改めて恐ろしさを感じました。
この校外学習を振り返って、江戸人は考え方が独特で、日本橋を作った当時の技術はすごいと改めて思うことができました。



当時の街並みを細かく再現していて驚きました!

クラシックカーなど実際にいろいろ乗ることができました

学年だより 中2

スポーツ大会

中間試験が終わった翌日の5月26日(木)にスポーツ大会がありました。2年生になって初めてのスポーツ大会は大接戦の末、A組勝利となりました。勝負に勝ち負けはつきものですが、勝利にこだわってプレーする、少し大人になったみんなの活躍は目に焼き付いています。全員の健闘をたたえたいと思います。次回は12月。どんな闘いになるのか今から楽しみです。

2年で初めてのスポ大

A組 大石 一葉

2年生になって初めてのスポ大でした。協力して頑張りました。ドッジボールでは私は元外野。ボールを回してどんどん当てていった結果、B組はあと1人。でも、その1人をなかなか当てられませんでした。バスケットでは女子が活躍し、勝つことができました。しかし、綱引きでは女子が負けてしまいました。とても悔しかったです。全体でも負けてしまいました。最終的にはA組が勝ちました。後期も頑張りたいと思います。次回は応援も協力して頑張っていきたいです。

結果だけではないスポーツ大会

B組 望月 ノア

僕たちはこのスポーツ大会で大切なことを忘れていました。それは「結果がすべてではない」ということです。負けてしまいましたが、団結力、チームワークは最高だったと思います。負けているときも応援を絶やさず、結果が負けでも仲間をほめ合い、勝った時のチーム全体での喜びは、どの組にも負けていなかったと思います。今回は何の賞も取ることができませんでしたが、次回はもっとパワーアップした応援とチームワークで賞を取りたいと思っています。そのために日々の学校生活をしっかりと送り、少しずつ団結力を強めていきたいと思っています。

勝利で終えられたスポーツ大会

A組 鈴木 秀直

中間テスト明けの翌日、スポーツ大会がありました。競技はドッジボールとバスケットボール、そして綱引き。最初の試合はドッジボール。女子が大差で勝ち、男子の僕たちのチームは負けてしまいました。でも、1年生も3年生もA組が頑張っていました。次の競技はバスケットボール。僕自身はあまりシュートが決められなかったけれど、女子の活躍により、勝つことができました。最後の綱引きは苦戦しましたが、A組が勝つことができ、よかったです。

次回こそは!

B組 田口 雄大

スポーツ大会ではA組は運動が得意な人が多く、勝ちたいけど難しかったです。結果は20点差で負け、惜しい試合でした。でも完敗すると思っていたのにここまで追い上げられたのは、応援や前日にやった作戦会議のおかげです。そして、得意な競技がある人は、その競技で頑張る点を取ってきてくれたクラスメイトのおかげです。後期には2連敗をする気はないので、次は勝つて中2を終わりたいという気持ちでいっぱいです。すぐに体育祭がやってきます。そこでリベンジをして勝利し、1勝1敗にして、次のスポーツ大会を迎えたいです。



A組

プレー中

B組

キャリア教育

スポーツ大会のあと、午後から2年生は積水化学工業株式会社の方をお招きし、実験を通して接着剤の強度について教えていただきました。

今回のキャリア教育は接着剤についての講義・実験でした。日頃何気なく使っている接着剤ですが、今回の講義で接着剤を作るためにさまざまな工夫がされていることを知りました。(2A 田口 愛梨)

わざわざ大阪から積水化学の方が来てくださって、接着剤について教えてくださいました。少し話が難しかったけれど、前から疑問に思っていたことが解決できたのでよかったです。(2B 村越 夢)



学年だより 中3

キャリア教育

3年生は「将来のシゴトとエコ」と題し、富士通株式会社の方にエコの大切さについてご講義いただきました。どの生徒も真剣に取り組み、非常に有意義な時間を過ごせたようです。

自分は、キャリア教育の授業を受けて、日常生活や学校生活の過ごし方を変えようと思うことができました。これからは、エコを心がけながら過ごしていきたいと思います。(3A 持田 新汰)

キャリア教育を受けてエコの大切さを知りました。また、将来やりたい仕事とエコがどのように関係しているかたくさん考えました。その結果、意外と関わっていることを知って驚きました。(3B 堀田 耀平)



校外学習 ～ガスの科学館～

5月27日(金)に実施された校外学習で、今年は豊洲にある「ガスの科学館」を訪問しました。ガスやエネルギーについて考え、そこから環境問題へと発展させてさまざまな学習をしてきました。

天然資源の現状 A組 蓑原 由裕

資源は無限にあるわけではありません。このまま今までのように天然資源を使っていたら私たちの子供、孫の生きる時代には天然資源はなくなり、人類は衰退の一途をたどることになるでしょう。そうならないためにも「今」対策が必要なのです。自分はバイオ燃料や水素といった新しいエネルギー開発の世界が総力をあげて取り組むべきだと思います。これから先の未来に「今」を誇ることができるようになるといいです。

私たちとガス B組 三須 恵美香

ガスの科学館では、日常生活にかかわっている都市ガスについて学びました。ガスは地下から掘り出したりなど大変な過程を経て、私たちの生活に役立っていることにすごく感動しました。ガスを使えているという現状は、多くの人々の努力の結晶だと感じたので、もっと詳しく知りたいと思いました。ガスはマイナス100℃以下に冷やすという技術を使って、海を越えて日本に来て、本来の目的として使われるようになったり、長所を最大限に活かされて、利用されていることを学びました。

自分ができるエコ A組 下津 伊吹

キャリア教育で地球温暖化について勉強した翌日に、ガスの科学館に行き、地球温暖化をどのように改善したらよいか、資源をできる限り使わないようにするにはどうしたらよいかを学びました。
私たちの身近なところにあることでも、一つ一つ積み重ねることによって地球温暖化を防ぐことができるとわかりました。これからは物を大切にすること、できる限りゴミを出さないこと、積極的にリサイクルすることを頑張りたいです。

新しい発見 B組 小野澤 佑太

天然ガスがどのように取れ、どのように運ばれるかは知っていたけれども、具体的に何℃まで冷やしていたのか、それを液体の状態にして、そのまま保つてどのように運んでいたのかという詳しいことまでは知りませんでした。また、エコにつながるものとして、エネファームが置かれていて、わかりやすく説明していただき、よく理解することができました。
エコは身近なことだからできるということを、知ることができました。

学年だより 高1

5月12日に開催された第1回学年集会で、クラスの枠を超えた交流と親睦を目的に、「猛獣狩り」で集まったグループ単位でのクイズ大会を行いました。企画立案から当日の運営までのすべてを学年委員会(級長会)が中心になって実施しました。

5組 長家 基

「猛獣狩りに行こうよ」は他クラスの人と組まなくてはならないというルールだったので、他のクラスと仲良くなるきっかけになって良いゲームだったと思います。クイズ大会もとてもいい雰囲気、先生の名前を当てたりしながら楽しい時を過ごしました。この学年集会を開催するために1週間ほぼ毎日、放課後に残って準備してくれた級長会の人たちと先生方にしっかり感謝をしたいです。



4組 藤山 雅生

どうもはじめまして、こんにちは。4組級長の藤山です。僕たちクイズ・問題作りチームは、先日行った学年集会のクイズ問題を考えたり工夫したりしました。
正直、こういうことを行うのが初めてだったので、手応えはわからなかったのですが、後で聞いた話によるとけっこう評判も良かったみたいです。しかし、集会の2週間前に実施が決まったときはとても間に合うとは思っていませんでした。実際、どうしても時間が足りなかったということもあって、リハーサル不足のミスが目立ってしまったかもしれないところもあります。ですが、毎日のように開かれていた級長会と学年委員長の阿部くんの努力のおかげで、大成功とはいきませんでしたがとても良い結果を残せたと思っています。この集会の目的はもともと他クラスとの交流だったので、好評だったということは、この目的が達成されたということだと思うので、とてもうれしく思っています。



10組 安藤 伊織

学年集会(猛獣狩りに行こうよ、クイズ大会)の実施要領策定を担当しました、10組副級長の安藤伊織です。皆さん、楽しんでいただけましたか?
今回、学年集会を行うにあたり、高校第1学年の全クラスの交流と親睦を深め、団結力や協調性の向上を目指すことを目標に、準備期間が短い中、級長会メンバーで一致団結して準備にあたりました。初めての企画にはなかなか良いものに仕上がったと思いますが、皆さんからはもっとこうしたいほうがいいなどのアドバイスをいただければと思います。準備が進むにつれて、われわれ級長会メンバーの接し方も変わっていききました。活動開始当初は、あまりコミュニケーションがうまくいかなくて、準備が徐々に進むにつれ、いろいろな課題解決を図っていく中でだんだんと仲良くなり、連携がとりやすくなっていききました。これからも全身全霊で頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

▶ **クイズ問題にチャレンジ!** 時間の関係でやむなく割愛した問題を掲載します。あなたは知っていましたか?(答えは欄外)

問1 学園の「建学記念日」はいつでしょう? 問2 この学校に水道はいくつあるでしょう?(トイレは除く)

A:9月22日 B:10月10日 C:11月1日 D:11月3日 A:約120個 B:約140個 C:約160個 D:約180個

2017年度の研修旅行コースが決定しました!

カナダホームステイ	17%
ハワイ研修	27%
ハワイホームステイ	6%
沖縄	22%
北海道	11%
ハワイサイエンス	17%

全コース希望者多数のため、来年度は全員が第1希望のコースへ行けることになりました。実際に行った先輩から話を聞いてイメージを膨らませておくのもよいかと思ひます。
私は2年前にハワイサイエンスコースを引率しました。このコースはハワイ諸島最大の島であるハワイ島の素晴らしい自然を堪能し尽くせる内容となっています。限られた日数でこれだけ濃い体験をすることは、将来自分で行こうとしても難しいと思ひます。中でも印象的だったのはオニツカビジターセンターでの天体観測。夕方に麓を出発し、雲より高い標高2,800mの目的地までバスで登ると、そこには天の川が肉眼で確認できるほどの一面の星空が広がっています。このコースを選んだ人は楽しみにしててください。
研修旅行が皆さんにとって良い経験になればと思ひます。今後は事前学習等もありますので、より充実したものにすためによりしっかり取り組みましよう。また、行かせてくださる保護者の方々に感謝の気持ち忘れずに。
5組学級担任 伊木 智子

朝読書、何を読んでいますか?【第3回】鈴木 あけみ 先生(図書館司書)

今回は司書の鈴木先生による、すこし大人になった君たちにお薦めする「ふたたびの物語」です。

★ **スウィフト作、平井正穂訳『ガリヴァー旅行記』(岩波文庫)**

幼い時に絵本で読んだ人は多いことでしょう。しかし原作を読むとまったく別の世界が現れます。船医のガリヴァーは多くの不思議の国を冒険しますが、第三篇には日本が登場します。わずか数ページですが「エド(江戸)」「ナンガサク(長崎)」「踏絵の儀式」などが書かれています。最後の国は「フウイヌム国」、馬が支配する国です。気高く礼儀正しい馬と対照的に無数の「輝く石」を奪い合う醜い動物が出てきます。彼らは「ヤフー」と呼ばれている人間たちで、インターネットの「YAHOO」の語源ではないかともいわれています。
読破するためのコツを教えましよう。冒頭の小人国「リリパット国」が少し長くて退屈に感じるかも。小さいことを説明する単位が「フイート」なので実感がわきません(1フイートは約30cmです)。しかし、この国での体験がその後の冒険に活かされているので、ここはとて重要で、読後スウィフトの重いメッセージが深く心に刻まれます。言葉に言い表せない「それら」は、一人ひとり違うはずで、
(次号は学園オリンピック[知的財産部門]の夏季セミナーに参加する庄司馨さんのお薦め図書を紹介しします)

学年だより 高2

スポーツ大会

昨年度は雨天のためかなわなかった、埼玉グラウンドでのスポーツ大会が行われました。さわやかな天気の下、生徒たちの歓声が響きました。

優勝 1組

高野 織音

5月6日(金)に、僕たち2学年初めての行事となるスポーツ大会が行われました。1組では、各競技で熱い試合を繰り広げ、見事優勝することができました。今回のスポーツ大会で、クラス全体の絆が深まったと思うので、次回のスポーツ大会でも1組らしい勢いで、優勝を狙ってきたいと思います。



準優勝 8組

大久保 兼匠
宮路 悠良

初めてのグラウンドでのスポーツ大会開催で、アリーナでは味わえなかった興奮がありました。その中で、ソフトボールとリレーは優勝することができました。惜しくも準優勝でしたが、クラス全員で楽しむことのできたスポーツ大会でした。次回はアリーナでの開催です。楽しみながらも8組の団結力で、今度こそ優勝を目指したいと思います。



大会結果	男子 フットサル	女子 フットサル	男子 ソフトボール	女子 ドッジボール	ホームルーム リレー
1位	1組	5組	8組	1組	8組
2位	9組	1組	6組	4組	1組
3位	8組	8組	1組	3組	7組
4位	7組	2組	5組	8組	5組



さあ、こい



フットサル女子チーム



互角の戦い



PK戦で優勝決定



応援にも熱が入ります

学年だより 高3

校外活動(バーベキュー)

5月6日(金)に茨城県にある「こもれび森のイバライド」で校外活動を行いました。当日は、快適な天候の下、煙と格闘しながらもお肉やご飯をたらふく食べて、自然の中で1日を過ごすことができました。

今回は、生徒諸君に校外活動の感想を述べてもらいました。

1組 田中 健太

今回のバーベキューは高校生活の大切な思い出の1つになりました。都会の喧騒を離れ、大切な仲間たちと過ごせた時間は本当に楽しかったです。残り僅かな高校生活も、クラスの大好きな仲間と共にたくさん思い出を作りたいです。

2組 河原 央佳

心配していた雨も降らず、気持ちの良い天気の中でのBBQでした。終始食材を焼いている人、食べる専門の人、普段とは違う一面を見ることができ、楽しい時間となりました。残り少ない行事もクラス全員で楽しみたいです。

3組 橋本 羽香

バーベキューを行っている時間自体は本当に短く感じましたが、班で楽しく活動ができました。アイスクリュー作りも、固めるのに苦労しましたが、その分とてもおいしく食べられました。クラスの仲がより一層深まったと感じられる1日になりました。

4組 内山 理緒

私たちは「こもれび森のイバライド」へ行きました。BBQをはじめ、動物との触れ合い、施設内散策、アイス作り体験など楽しむことができました。進路に関係する学園基礎学力定着度試験後の校外活動だったので、良い息抜きになりました。

5組 水上 里来

今回のバーベキュー体験は、3年生として最初の素晴らしい思い出になりました。学校でしか会わないクラスの仲間と、体育祭や建学祭とは趣が異なる校外ならではの楽しさや友情を分け合うことができ、よりクラスの絆が深まりました。

6組 高梨 美樹

3年生になって初めての学年行事でした。それぞれ勉強や部活動で多忙な日々の中、自然に触れ、仲間と共にBBQを楽しみ、十分な息抜きの時間を過ごせたと思います。残り少ない高校生活で、よりたくさんの思い出を友人と作ってみたいです。

7組 飯塚 宙雪

3年生になり、高校生活の残された時間も少なくなりつつある中で、クラスとして思い出を作り深めることができました。また、日頃の勉強や部活動の忙しさを忘れて、楽しい時間を有意義に過ごすことができたと感じています。

8組 原田 翼

3年になって初めての校外活動で、いつもとは違う私服での参加でした。それぞれの班で協力が見られたと思います。クラスの仲間さらに深まってよかったと思います。みんなが楽しく過ごせたので、良い校外活動になりました。

9組 星野 竜也

今回の校外活動ではさまざまな思い出ができました。雄大な自然に囲まれながらの動物との触れ合いや、クラスメートとの楽しいBBQなどを通して、友情が一層深まりました。3年生の行事も残り少ないので、一つ一つ楽しみたいです。

10組 十合 玲

仲の良い友達と肉を競い合って食べたり、気兼ねすることなく面白い話に花を咲かせたり、そしてバス内でもとても楽しい時間を過ごすことができました。3年間同じクラスメートだからこそこの体験ができたと思います。



煙の中で



4組のテーブルから



お替わり自由



直接トングから



1組のテーブルから



ライス大盛り

SSH活動報告

科学プレゼンテーション

1年SSHクラスでは、『科学プレゼンテーション』という授業があります。第1回は、外部講師を招聘してプレゼンテーションの基礎を学び、第2回は、日本科学未来館で展示物についてプレゼンテーションし合いました。その後、前期は日本語で、後期は英語でプレゼンテーションの練習を行います。また、毎回TAとして2・3年のSSHクラスの先輩方が、1年生のサポートを行っています。今回は、第3回まで行った授業の感想を、1年生とTAの先輩に書いてもらいました。

目標に向かって

1年10組 **メッサー 真秀**

私は、SSHクラスに入学した当初、期待と緊張でいっぱいでした。特に緊張したのがプレゼンテーションの授業です。自分が作った原稿で、相手に伝えることができるのか不安でした。しかし、プレゼンテーションをした後、聞いてくれた人が私に拍手してくれたので、安心しました。それと同時に、自信ができました。この授業でプレゼンテーションに対しての不安がなくなりました。日本科学未来館でプレゼンテーションをしたり、校内で行ったり、回数が増えるたびに達成感が増すような気がしています。そして、私は目標を持つようになりました。それは、全ての人々が驚くような、最高のプレゼンテーションをすることです。アイコンタクトやジェスチャーをして、そしてわかりやすい説明内容を作るように心がけています。SSHクラスでしかできないことに協力してくれている先生方や仲間たち、そして両親に感謝します。これからも、SSH活動を積極的にを行い、目標に向かって頑張りたいと思います。



興味を持った展示物の疑問を解決します

教えると教わる

2年10組 **石橋 大朗**

私がかつとTAをやろうと決意したのは、単純な好奇心でした。せっかくSSHに入ったのだから、何かやってみよう。TAといってもそこまで難しいものでもなさそう。そんな考えでTAを希望しました。しかし、初めてTAとして科学未来館の実習に参加した時、私はとても軽い気持ちだったのだと感じました。TAに積極的に質問してくる1年生。それに対して答え、他にも時間の調節や1年生をまとめる仕事。自分が、1年生の時とは全く違う感覚がして足が震えました。1年生の彼らは、単純に疑問があったから質問しているだけだとわかっています。しかしどう返すのが一番適切か、正確なのか。たった一つの質問でも悩まされました。そして特に感じたことが、景色の違いです。以前は、プレゼンの原稿作りでまともに展示品を見ることができませんでした。今、TAとして見ると、「この展示品のプレゼンをしたい」と感じるようになりました。これからのTA活動ではより丁寧に指導し、また自分自身の新発見ができるよう努めていきたいと思っています。



TAの先輩が説明します

2年目のTA

3年10組 **田口 隼平**

私は今年2年目のTAとなりました。去年とは違いサポートしてくれる先輩がおらず、むしろ自分がサポートをする側となり、より一層責任感を感じる中でTAの活動に参加しました。昨年は先輩方が手本となり、さまざまな面でサポートをしてくださったおかげで、1年生に教えることだけに集中することができました。しかし、今年は自分が全体を見て行動しなければならぬため、どのくらいの時間で次の作業の準備をするかなど、考えることが昨年よりも格段に多くなりました。まだ数回しか活動していませんが、それでも先輩たちがいたことがどんなに心強かったのか実感しました。

私は以前大きな舞台上で発表する機会があり、その際には1年生の時に学んだプレゼンテーションのコツがとても役に立ちました。今は何のためにやっているのかと思うかもしれませんが、プレゼンテーションの技術は社会に出て必要になってくるものなので、嫌に思わず積極的に学んでいってほしいです。



班のメンバーにプレゼンテーションします

2016年度学校運営方針

5月号で掲載した2016年度の学校運営方針重点目標について、詳しく紹介していきます。

2016年度の重点目標 PART.2

4 付属推薦候補者決定後の10カ月指導を充実させる

東海大学との一貫教育を基本方針とする本校では、毎年9割近くの生徒が付属推薦で東海大学に進学します。付属推薦制度では高校3年の6月に推薦入学候補者として進学する東海大学の学部学科が明確となります。そこで、高校3年6月以降の10カ月を各自の進路に向けた準備期間と位置づけ、一貫教育体制を活かした指導を展開していきます。特に12月からの授業は、「特別講座」としてクラスを進学予定先に応じて再編成したうえで、各自の大学での学びにつながる内容で行っていきます。その他にも、進学予定の学部・学科の授業を先行して受講する「東海大学体験留学」や、入学準備のためのe-Learningを実施していきます。

部・同好会活動報告

関東大会出場

柔道部

関東大会に参加して

3年7組 **池田 希**

柔道部は、今年で男子4年連続、女子2年連続の関東大会出場となりました。男子は去年までの3年間、初戦突破をすることができませんでしたが、今年は一回戦を勝ち進むことができました。二回戦は、昨年まで高輪台高校で監督をされていた水落先生が率いる東海大相模高校と対戦しました。何としても勝とうという気持ちで臨んだのですが、結果は0-5の完敗でした。1年のころは補欠、2年、3年で選手として出場させていただきましたが、今年は団体戦の役に立つことができずに後輩たちに迷惑をかけてしまい、とても悔しかったです。

高校柔道では、関東を制する者は全国を制すると言われています。特に東京都は競技レベルが高いことで有名です。その中でも高輪台高校が所属する第2支部に

は、全国大会で決勝を争うトップの2校があります。強い相手が身近にいることをプラスに考えて、昔の高輪台柔道部の先輩方が成し遂げた「全国制覇」を目標に、多くの人から応援されるチームを目指して、日々の生活から頑張っていきます。



お知らせ

2016 東海カルチャーセミナー

❖日時:9月3日(土) ❖場所:本校アリーナ
13:00~15:10 (12:30受付開始)

第1部:本校吹奏楽部によるコンサート 指揮:畠田 貴生

第2部:講演会

講師:梶井 龍太郎 先生(東海大学教養学部芸術学科音楽学課程教授)

テーマ:「オペラへの誘い」 ~人の思いを1つにして作り上げる舞台~

「学校法人東海大学 熊本地震義援金募金」

これまでにたくさんのご協力をいただきました。誠にありがとうございます。東海大学では7月29日まで募金を受け付けております。引き続き、ご協力いただける方は東海大学のホームページから募金をお願いいたします。

行事予定

July 7月

- 1日(金) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(土) 付属推薦候補者説明会(高3)
- 3日(日) 付属推薦候補者説明会(高3)
受験生・保護者対象学校説明見学会①(高校)
- 7日(木) 剛健旅行開会式(7時限)
- 8日(金) 第48回剛健旅行(嬬恋高原研修センター周辺、~9日)
- 11日(月) 剛健旅行閉会式 45分短縮授業
- 12日(火) 校医相談日
タイ王国 プリンセス チュラポーン サイエンス ハイスクール トラン校 来校(~14日)
- 16日(土) 水泳実習(湘南校舎:中等部)
- 17日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(中等部)
- 18日(月) 海の日
- 20日(水) 5時限授業 夏期休暇前諸注意(2時限)、大掃除(6時限)
さくらサイエンスプログラム(SSHクラス)
- 21日(木) SSH科学体験学習旅行(~23日) 夏期講習(中等部:~25日)
- 31日(日) 学園オリンピック文化部門[国語、数学、理科、英語、芸術(造形)、知的財産、ディベート]
(嬬恋高原研修センター、~8月5日)

August 8月

- 6日(土) 学園オリンピックスポーツ大会(湘南校舎、~8日)
- 11日(木) 山の日
- 15日(月)~20日(土) 一斉休暇
- 23日(火) SSH課題実験夏季集中授業(~26日) 夏期講習(中等部、~30日) 登校日(中2)
- 24日(水) 英語体験研修(中2:嬬恋高原研修センター、~26日)
- 27日(土) 受験生・保護者対象学校説明見学会②(高校)
- 28日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(中等部)
- 30日(火) 外部模試(高2、希望者)

September 9月

- 1日(木) 朝礼・避難訓練[正制服着用]
45分短縮授業
- 3日(土) 3時限授業(4限カット)
東海カルチャーセミナー
後援会委員総会
- 6日(火) 校医相談日⑤
- 7日(水) 専門医によるカウンセリング③
- 8日(木) 生徒による授業評価アンケート②
生徒による学校評価アンケート①
- 10日(土) 高輪会役員会
- 12日(月) 前期期末試験
(中等部:~15日、高校:~16日)
- 13日(火) 生徒自宅学習日
- 16日(金) 写生大会(中等部)
- 17日(土) 生徒自宅学習日
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 答案返却
- 21日(水) 生徒自宅学習日
- 22日(木) 秋分の日
- 23日(金) 生徒自宅学習日
- 24日(土) 生徒自宅学習日
- 25日(日) 東海大学オープンキャンパス(高2)
- 26日(月) 振替休日(高2)
- 28日(水) 第15回高校体育祭
(さいたま総合グラウンド、
延期の場合は授業日)、
特別時程(中等部)

編集後記

1年の半分が終わり、いよいよ後半戦がスタートする。湿気が多く、なんとも鬱陶しい季節であるが、間もなく梅雨が明け夏本番となる。7月といえば本校の伝統行事「剛健旅行」が実施される。一面に広がる嬬恋高原のキャベツ畑の中をひたすら歩き続ける。特に高校男子は、夜を徹しての長距離歩行だ。「若い時の苦勞は買ってでもせよ」という言葉があるが、苦勞は必ず貴重な経験となって将来役立つものである。疲勞困憊の中にも、歩き終えた達成感を味わってもらいたいものである。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>